



松沢成文の新著『始動！江戸城天守閣再建計画』（ワニブックス PLUS 新書）が12月8日に発売になりました。

世はまさに「城ブーム」です。「姫路城の大改修」「天空の城、竹田城跡」「名古屋城天守閣の木造再建構想」など話題も尽きないですが、日本国中どここの城もかつてないほど多くの観光客が訪れています。

いよいよ東京五輪が近づくとつれて、世界にアピールできる東京の新たな魅力づくりが求められています。東京の歴史・伝統・文化の最も大きな象徴、それこそが「江戸城天守閣」なのです。

前作「甦れ！江戸城天守閣」から3年近くが経ち、いよいよその実現が現実味を帯びてきました。江戸城天守閣の再建で日本を元気にする！民間資金による木造復元で、初年度経済効果1000億円とも見込まれます。周辺産業への波及効果も絶大で、東京五輪後の日本経済を支えるひとつとなり得ます。また、本書は史上初めて、江戸城天守閣の内装外装を解明した画期的な内容です。

全国の大手書店、インターネット書店等でご購入できますので、皆さまぜひご一読ください。